

「明日も平和であるために」を推進する会」

小・中学校巡回報告

この会(代表・上谷章夫氏)は、流山市・流山市教育委員会の後援を得て、一般市民に平和の大切さを考え再度確認していただくために、戦争がいかに市民に不条理な悲劇をもたらすかをテーマとしたイベント…ジョー・オダネル写真展(2010年)、無言館展(2013年)、被爆ピアノによる平和を願う演奏会(2014年)…を企画開催してきました。

戦後70周年の節目に当たる記念として、昨年8月に「東京大空襲と学童疎開展」とその関連企画を開催しました。企画展のみならず、戦争体験集「あの時子供だった私たちは…」を編纂刊行しました。この書籍刊行には一部流山市からの公益補助金交付を受けました。市内の図書館・全小・中学校関係機関に書籍を配布すると同時に、小・中学校での講演など当該書籍を活用した事業を行う事を望まれておりました。当会も平和の大切さを若い世代に伝えたいという使命感を持ち活動していますので、教育委員会の後押しもあり市内の小・中学校などの理解を得て「特別課外授業」を実施しています。

2016年度では、東部中・八木南小・流山北小・流山小・東小・向小金小(開催順)及び県立流山南高での課外授業を実施しました。

12月6日朝日新聞朝刊・千葉版に5日に実施した東小学校での「特別授業」を通して、「流山の語り部・戦争の悲惨さを伝え続ける」と掲載されていますのでご参照ください。

12月12日は、本年最後の企画として向小金小学校で開催。NHK特番の東京大空襲のビデオ鑑賞のあとで、平和台在住の勝山徳三郎さん(79歳)が東京大空襲その日の下町での体験談、向小金在住の染井かねさん(80歳)が当時の旧八木村での暮らしぶりや終戦の日の「ポツダム宣言受諾」の放送を聞いた時の有様を目の前の出来事のように熱くお話しをされました。

向小金小6年生・岩見直紀君は『僕は、今日のお話を聞いて、戦争はとても恐ろしいことだと思いました。どんどん攻撃されて逃げていると周りの人が亡くなっていて、食べる物も着る物も少なく、とてもつらい思いをしていたということが良くわかりました。それに比べると今はとても平和で、不便の無い生活が出来ていると思います。戦争は絶対にやってはいけないことだと思いました。知らないことをたくさん知れて良かったです』。

「語り部の会」の意図を十分に理解してくれたようで何よりでした。



この企画は、他の地域の小・中学校にも今後の開催を働きかけています。書籍の購入の件と共に、いつでもお問合せ下さい。

問合せ先: 江後田正明

TEL:04-7159-2495

E-mail: egota00@hotmail.com

東部FC 30周年を迎えました!

流山東部フットボールクラブ(ntfc)は、1986年4月に流山東部地区の小学生を対象にスタートしましたが、幼児から成人までに活動を拡げ、30周年を迎えました。

30周年記念行事として、昨年8月:中高大(Under13~U-22)大会、昨年12月11日・本年1月22日:『ntfc杯サッカー大会』(小学生U-12・招待試合)、昨年12月24日:運動会・クリスマスフットサル大会(U-5~U-12)、本年1月29

日:社会人(Over23~)大会を東部スポーツフィールド(SF)にて開催を予定しています。

『ntfc杯サッカー大会』(小学生U-12・招待試合)は、市内6クラブと近隣市の5クラブと当クラブの6年生の12チームで同じく東部SFで2

日間交流を深めます。

元気なフットボーラーに声援を送ってください。

